

**夢をはぐくみ、在り方生き方を考えさせる**

# キャリア教育の推進

Ver 2



**「将来の竹原を支える、郷土を愛する心をもった  
子どもたちの育成をめざして」**

キャリア教育モデル開発事業（広島県教育委員会指定）

竹原市キャリア教育推進委員会

【～竹原っ子の店～ **バンブー-SHOP**】（小・中・高合同販売実習）の取組み

18年度の実践



18年度、竹原小学校・竹原中学校・竹原高等学校は、従来のオープンスクールや高校体験授業・上級学校訪問等に加えて、「中高校生が小学校6年生へ体験学習の発表を行う授業」「高校生が小学校5年生のパソコン授業をアシスタント教員として支援する授業」等、児童生徒が校種を超えて直接交流する研究実践を実施しました。

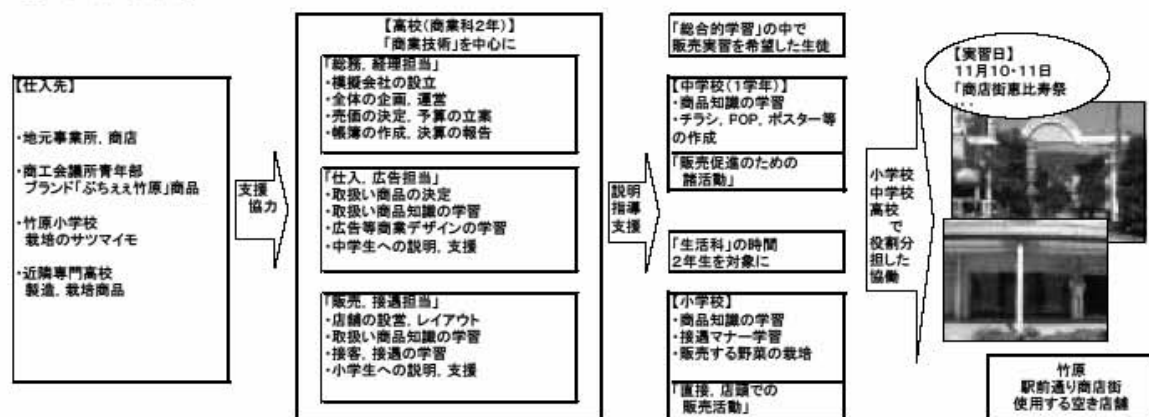
実践の検証

児童生徒が直接交流することで、年長者は教えることの喜びと難しさを通して自己有用観・達成感や責任感を得る。年少者は教員（大人）から教わるのとは違う感覚で課題をより身近に感じたり、近未来の自己をイメージしやすくなり上級学校への垣根が低く感じられるようになった。

「検証された有用性を活かす、新しい児童生徒の校種間連携授業の企画」

小・中・高合同販売実習の企画

【企画概略図】



	児童・生徒到達目標	キャリア諸能力との関連
小学生	挨拶やお客様に対する適切な対応ができるようになる	【コミュニケーション能力】
	自分の役割を把握し自分で考え行動できるようになる	【役割把握・認識能力】 【課題設定・解決能力】
中学生	情報宣伝という役割を把握し、「どうすれば商品の良さを伝えることができるか」など主体的に考え工夫し、仲間と協力してチラシやPOP作成をできるようになる	【役割把握・認識能力】 【課題設定・解決能力】 【情報収集・探索能力】
	専門高校や専門学科の授業内容を知ること、高校進学に向けて自分の興味関心や適正を考えるようになる	【情報収集・探索能力】 【計画実行能力】
高校生	店舗運営のリーダーとしての役割・責任を自覚して、小中学生を支援することを通して学ぶことの大切さや教えることの難しさを理解する	【役割把握・認識能力】 【課題設定・解決能力】 【コミュニケーション能力】
	店舗を運営することで、商業に関わる様々な仕事があることを実体験として理解するとともに、商業科で学んでいる内容が実社会でどのように活用されているかを知り学習意欲が高まる	【職業理解能力】 【計画実行能力】

事前指導

【小学校】：「商品となる、さつまいもの栽培」と「接客指導」



6月苗植え



11月芋掘り



高校生と接客  
ロールプレイ



【中学校】：「高校生による企画プレゼン」「チラシ広告・POPのデザインおよび作成」



企画説明，中学生の投票で「店名：バンブーSHOP決定」，「中学生の作品が本物の新聞チラシに」

実習当日



「開店準備」



「オープニング」



「いらっしゃいませ」



「ありがとうございました」



【小学生】

「いらっしゃいませ」と言うのにドキドキしたよ。お客さんがいっぱい来てうれしかった。

【中学生】

大きな声で接客するのははずかしかったけれど，商品が一つでもうれた時はすごくうれしかった。

【高校生】

小学生の元気な声に後押しされて緊張が解けたいつもとは逆の売側の経験ができてよかった。

【来店者】

子どもたちが一生懸命にがんばっている姿に感動しました。このような活動をもっと取り入れて。

今回の取組みに共催いただいた駅前商店街振興会をはじめ，ご協力をいただいた地元企業・事業所その他関係者の皆様に，心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 小学校の取組み事例

夢と希望を持って生きていくための勤労観、職業観の基盤を培う

—体験学習プログラムの実践例—

### 低学年のテーマ：身近な人たちの暮らしを調べよう

- 家の手伝いをし、自分が家族の一員であることに気付く。
- 町探検を通して、身近な人の様子を知り、挨拶の大切さに気付く。



児童の感想：「合同販売実習」に参加して  
・大きな声で、「いらっしゃいませ、野菜を買ってください。」と言ったら、お客さんがいっぱいやってきて「やった。」と思いました。  
・やっぱり挨拶が大切だと思いました。  
【人間関係形成能力】の育成

### 中学年のテーマ：働く人たちから生き方を学ぼう

- 地域のお店の取材を通して、地域の一員としての自覚を高める。
- 誇りや喜びを持って働いておられる方の姿を通して、働くことの大変さ、やりがい、喜びなどを感じる。



児童の感想：地域の方の話を聞いて  
・お店の人たちは、地域のよさをいろいろな人に伝えたいという思いで仕事をされていることがわかりました。  
・わたしたちもこの地域を大切にしていきたいと思いました。  
【情報活用・収集能力】の育成

### 高学年のテーマ：未来に向かって生きる力を高めよう

- 中高生から職場体験、インターンシップで学んだことを聞き職場見学を行う。
- 中学校オープンスクールへ参加し、中学校での生活を思い描く。
- プロジェクトDREAM～未来に向かって夢や希望をふくらませ、自分の能力を高める。



児童の感想：職場見学をして  
・自分の知らなかったいろいろな仕事があることがわかりました。  
・どの仕事もやりがいのある仕事だなと思いました。  
【意思決定能力・将来設計能力】の育成

進学  
中学校へ

第1学年目標: 夢を持とう

- 集団宿泊学習で本校保護者による講演「仕事を語る(おやじクラブ)」
- 「小中高合同販売実習」(竹原っ子の店・パンブーSHOP)体験学習



生徒の感想:「小中高合同販売実習」の体験学習から

- ・ お客様からの質問に答える時がとても緊張しました。
- ・ 販売とは商品を売るだけではなく、人とのかかわりを大切にしないといけないと思いました。

【情報活用能力(職業理解)】の育成

第2学年目標: 夢を語ろう

- 職場体験学習 竹原市キャリア・スタート・ウィーク(5日間の職場体験)
- 学んだ内容を深める体験レポートの作成, 保護者・事業所に公開される職場体験発表会
- 修学旅行で「東京で活躍する先輩(映画監督)」による講演



生徒の感想:東京の先輩)の話を聞いて

- ・ 「目標を作る」「楽しいことに出会えば、苦労はない」の話が勉強になりました。
- ・ 自分の好きなことや、将来の夢を作っていきたいなと思いました。

【意思決定能力】の育成

第3学年目標: 夢の実現に向かって歩み出そう

- 高等学校・高等専門学校・専門学校・大学等を含めた上級学校訪問
- 関心がある学校を生徒が選択して内容を聞く進路説明会, 高校教員出張授業の受講



生徒の感想:上級学校を訪問して

- ・ 人の事を考えるという当たり前の事が出来るようになっていきたいと思います。
- ・ 勉強をがんばっていこうと思いました。そして、しっかり学力をつけて、志望校に合格したいです。

【将来設計能力】の育成

将来の  
夢の実現

## 高等学校の取組み事例

# 学校から実社会への移行 —具体的な進路(職業)選択—

### 第1学年テーマ:【 生きるとは 】

- 「生きる(生きがい)とは」身近な大人へのインタビューレポートを作成する。
- 「キャリアアドバイザー講演会」地域の社会人講師を招いての講演・講話。



#### 「キャリアアドバイザーの講演」

・仕事に「やりがい」「楽しみ」を感じている大人は、カッコイイと思った。

・社会人は、自分の生活も大切だけど地域と接点を持ち、地域に貢献することも大切なことだとわかった。

【職業理解・役割把握能力】の育成

### 第2学年テーマ:【 働くとは 】

- インターンシップ、スクールインターンシップの実施。
- 「仕事について」保護者へインタビューしてレポートを作成する。
- 「進路別説明会」(大学・専門学校等による)「大学模擬授業」の実施。



・仕事の大変さや、責任感、やり終えた達成感を体験できた。

・親の仕事内容や仕事に対する情熱みたいなもの、初めて聞いた気がする。

・自分の就きたい職業に、必要な資格や能力、適切な学部などがわかった。

【情報活用・収集能力】の育成

### 第3学年テーマ:【 進路実現 】

- 進路希望別課題研究(進路実現のための具体的方策の探索と実行)。
- 「小論文」「面接」「プレゼンテーション」「ディベート」等の具体的指導。
- 「ハローワーク講演会」(社会にでてからの、職業相談・職業情報の収集、法知識)。



大学を出て、資格をとることができたら竹原に帰って夢をかなえたい。

【広島県キャリア教育フォーラムにて】

#### 【ハローワーク講演会】

学校を出ても職業の相談ができる場所があることがわかった。雇用関係の法律について知ることができてよかった。